

南三陸町地方卸売市場 水揚げされる水産物の放射性物質濃度測定 (スクリーニング検査)



1

測定室に設置された、放射能濃度測定器です。



2

室温は常に一定に保たれています。



3

精製水を使って、バックグラウンドデータを取得します。この作業に16時間かかります。

バックグラウンドデータとは、「試料の無い状態」での測定データで、検体の計測結果から差し引いて計算するために取得します。



4

カリウムとウランを使って、機械のエネルギー校正を行います。

エネルギー校正とは、既知の線源を測定することで、機械の誤差を無くし、正確な放射能濃度を検出させるための作業です。



5

検体が届きます。



検体は、容器内での密度を上げるため、ミキサーなどでできるだけ細かくします。



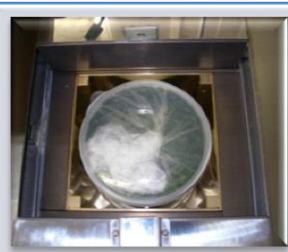
7

細くなった検体は、500mlの容器に詰めます。



8

質量を計ります。容器の体積500mlと質量の比(密度)によって、測定下限値が変化します。



9

検体を測定器に入れます。



10

計測はPC操作によって行われます。



11

計測中の画面です。計測時間は15分です。

500ml容器・15分の計測で、セシウムの測定下限値は、3~5 (Bq/kg)程になります。



12

計測されたデータは、グラフや表となって印刷されます。



13

測定室には、過去の全てのデータが保管されています。

このように精密で正確な測定によって、南三陸町地方卸売市場では、漁獲物の放射性汚染からの安全性は保障されています。



